

ずっと住みたい沖縄って？国連を支える世界こども未来会議 in OKINAWA を初開

催！

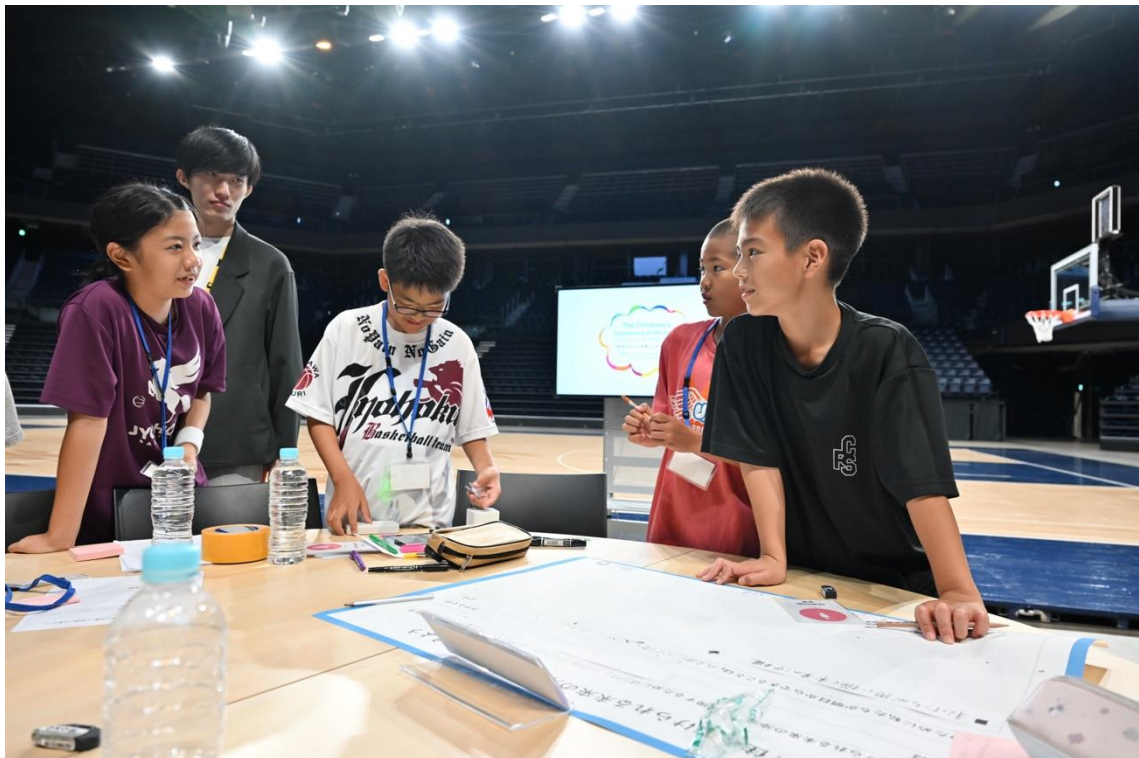
7月26日、世界の子どもたちが集まって未来の平和で豊かな世界について考える“ピースコミュニケーション”の場「国連を支える世界こども未来会議 in OKINAWA」を、沖縄アリーナのメインアリーナで開催されました。会議には沖縄市内外の小学4～6年生のこどもたち約30名が参加し、SDGs（持続可能な開発目標）を達成する視点を含めて、「住み続けられる未来の沖縄」について真剣に考えディスカッションし、これからの沖縄があるべき姿やそのために明日から始める行動などをグループごとに発表しました。



こどもたちは6つのグループに分かれ、早稲田大学科学知融合研究所メンバーのサポートを受けながらテーマに取り組みました。まずはじめに『わたしたちのウェルビーイングカード』を使って、「挑戦」「思いやり」「応援」「感謝」「自分らしくいること」など思い思いの自分の幸せにつながる言葉を選んで自己紹介をしました。そのなかで「どんな時に思いやりが必要だと思うか」など問いかけられながらコミュニケーションを膨らませていました。



この日のテーマ「住み続けられる未来の沖縄」についても、同様にカードを使いながら意見を交わしました。いま自分たちが住んでいる沖縄が未来に向けてどう変化していったらいいのか、どんなふうになったらより住み続けたいのかを考えながらディスカッションをしました。「ごみ拾いをして環境をもっときれいにしていくべきだと思います。それによって沖縄に来る人が増えるはずだから」といった沖縄ならではの自然に対する考え方や、「決まりを守ることが大切だと思います。沖縄は交通事故が少ない県。これを増やさないように続けていったほうがいい」など、沖縄の現状を踏まえた意見が活発に飛び交いました。



最終的にはグループの答えとしてウェルビーイングカードの中から「挑戦」「協調」、そして「生命・自然」を選んで、手分けして文字やイラストを盛り込んで発表用のパネルを作り、マイクをリレーしながら発表をしました。なかなかカードを1つに絞り切れないなかで、6チーム中4チームが自然や環境を守る

ことを選び、ごみを拾った分量に合わせてレストランや水族館で使える割引券を発行するといったアイデアもありました。

最優秀賞は、「生命・自然」を掲げ、現在と未来の海と地球を絵で表現して海をきれいにしていきたいというメッセージを発信したDグループで、メンバーには審査員を務めた琉球ゴールデンキングス代表取締役社長の白木享さんから表彰状と副賞が手渡されました。また、2024年に東京都庁大会議場で開催予定の「第4回 国連を支える世界子ども未来会議」にも参加予定です。



審査は、白木享さんのほか、衆議院議員で元内閣府特命担当大臣の島尻安伊子さん、沖縄県出身でダンス&ボーカルグループ THE RAMPAGE のパフォーマーによる HIPHOP ユニットの MA55IVE THE RAMPAGE の神谷健太さん、一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事の一木広治、そして参加した子どもたち自身によって行われました。

島尻さんは「バス賃が高いから電車を作ってほしいといった声があがっていました。電車ができれば沖縄にずっと住むのかと聞くと、住む！と。生の声が聞けたかなと思います。これまでこうした形で子どもたちの沖縄に対する生の声を聞く機会はありませんでしたし、子どもたちが考え方であるとかコミュニケーションのハウトゥーも学べる良い機会だと思います。一方的に入ってくる情報だけでなく、自ら発信していく子どもたちが大人になった時に出来上がる社会にワクワクします。沖縄の明るい未来を感じました」と、話しました。

ワークショップ終了後、同じく審査員を務めた神谷さんに感想を聞くと、「刺激を受けました」と話し、「みなさんの発表を聞きながら僕が小学生の頃はそこまで考えられたかなと思って聞いていました。参加した小学生たちはみんな別の小学校とのことでしたが、発表では、自然と誰かのフォローをしていたりして、数時間のワークショップだったのに、みんな昔から友達みたいな距離になっていたのにも驚きましたし、そんな子どもたちの姿を見て、まだまだ勉強していかなきゃならないと思いました。僕も発信できる場所は発信して、県外にいても、沖縄の良さを届けていきたいと思いました」と話しました。



この日はまた、会場となった沖縄アリーナを本拠地とするバスケットボールの B.LEAGUE「琉球ゴールデンキングス」によるバスケットボール教室、そして LDH JAPAN が運営するダンススクール「EXPG STUDIO OKINAWA」のインストラクターによるダンス教室も行われました。

バスケットボール教室は、8月25日に開幕が迫った「FIBA バスケットボールワールドカップ 2023」の機運を高めることも兼ねて、田代直希選手と与那嶺翼キングス U18 ヘッドコーチにご指導いただきました。ゲーム感覚で楽しめる内容で、子どもたちはコートを駆け回りました。



ダンス教室には、THE RAMPAGE/MA55IVE THE RAMPAGE の浦川翔平さんと鈴木昂秀さんもサブライズで、THE RAMPAGE の「ツナゲキズナ」を子どもたちと踊りました。



SDGs ピースコミュニケーションプロジェクトは 2019 年に東京オリンピック・パラリンピック公認プログラムとしてスタート。国連を支える世界子ども未来会議は、2021 年から毎年開催し 2022 年度からは国内各地でも開催。現在は、こども家庭庁・外務省・東京都が後援し、2022 年 12 月には国連からタイトルの認定を受けています。

7 月 19 日には、キッズアンバサダーらが米ニューヨークの国連本部を訪れ、国際連合日本政府代表部中川周公使立ち合いのもと、3 月に開催した「第 3 回国連を支える世界子ども未来会議」の議論の提言をまとめたアイデアブックを提出しました。

2025 年には、大阪・関西万博において第 5 回を開催する計画です。

◆国連を支える世界子ども未来会議 in OKINAWA 開催概要

【イベントタイトル】国連を支える世界子ども未来会議 in OKINAWA

【開催日時】2023 年 7 月 26 日（水）

【開催場所】沖縄アリーナ メインアリーナ

【審査員】一木広治（一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事）、島尻安伊子（衆議院議員、元内閣府特命担当大臣）、白木享（琉球ゴールデンキングス代表取締役社長）、神谷健太（THE RAMPAGE / MA55IVE THE RAMPAGE）

【主催】一般財団法人ピースコミュニケーション財団

【後援】内閣府こども家庭庁、外務省、沖縄市

【協力】早稲田大学グローバル科学知融合研究所、大阪大学大学院国際公共政策研究科

ESG インテグレーション研究教育センター、琉球ゴールデンキングス、沖縄 EXPG、浦添市、沖縄 MOVE UP 各社（株式会社沖縄ファミリーマート、株式会社プロラボホールディングス、シンバホールディングス株式会社、空港ターミナルサービス株式会社）